

9 令和3年度新規事業

(1) ファーストバースデーサポート事業

健診などの行政が関わる機会が少ない1歳前後の子どもを育てる家庭に対して、1歳を迎える月に子育てに関するアンケートを送付し、子育て支援に関する情報提供や育児に関する相談に対応するとともに、対象者には育児パッケージを配布する。育児パッケージは子ども商品券と子育て情報誌を送付する。

表1：アンケート発送数・返送数および支援方針

| | | 令和3年度 | |
|--------|-----------|--------------|------------|
| アンケート | 送付数 | 1814件 | |
| | 返送数 | 1751件 | |
| | 返送率 | 96.5% | |
| フォロー方針 | 特になし | 1228件(70.3%) | |
| | 地区担当 | 218件(12.5%) | |
| | TELフォロー | 保健 | 142件(8.1%) |
| | | 栄養 | 75件(4.3%) |
| | | 歯科 | 35件(2.0%) |
| | | アレルギー | 6件(0.3%) |
| 1.6確認 | 44件(2.5%) | | |

表2：アンケートに記載の多い主な困りごと

| | |
|----------------------|------------------------------|
| 保健 | <育児の悩み> |
| | ・上の子への対応、2人・3人の子育て |
| | ・サポート不足（頼る人がいない、ワンオペ育児） |
| | ・コロナ禍で、同月齢の子と関わる機会が少ない |
| | <保護者の体調・気持ち> |
| | ・疲労感（疲れやすい、疲れが取れない） |
| | ・身体的な問題（持病がある、腰痛等） |
| ・イライラしやすくなった、神経質になった | |
| 栄養 | ・食ベムラがある |
| | ・目安量がわからない |
| | ・ミルクや母乳が減らない・やめられない/卒乳の方法、時期 |
| | ・かまずに丸飲み |
| | ・遊び食べ・食事に集中しない |
| 歯科 | ・仕上げみがきを嫌がる |
| | ・歯並び、かみ合わせが気になる |
| | ・歯の生え方、生える順番 |
| | ・歯みがき習慣がついていない |
| | ・歯の汚れ、歯石がついている保健保健 |

(2) 多胎児家庭支援事業

多胎児を養育する家庭に対して、同時に二人以上の妊娠・出産・育児をすることに伴う身体的・精神的負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境を整えるため、移動経費補助及び相談支援事業を実施する。

移動経費補助では、平成30年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた3歳未満の多胎児を同一世帯で養育する家庭を対象に、保健師、助産師が家庭訪問等、面接相談を行うとともに、多胎児に係る母子保健事業を利用する際のタクシー利用支援として、育児パッケージ(交通系 IC カード)を配布した。対象者には、誕生月の翌月下旬に申請書を送付し、申請書が届いたら、電話で家庭訪問の予約を受け付ける。令和3年度は一部の3歳児にも配布した。

また、相談支援事業では、多胎児の養育経験のある家庭等との交流会を市内にある児童館(子育てひろば)を会場に、助産師や保健師、児童館スタッフと合同で行うほか、専門職による多胎児に関する相談等に対応し、適切な支援につなげる。

表1：移動経費補助の実施状況 [単位：件]

| 区分 | 3年度 |
|-----|-----|
| 0歳児 | 27 |
| 1歳児 | 22 |
| 2歳児 | 21 |
| 3歳児 | 14 |

表2：社会資源の活用(複数回答) [単位：件]

| No. | 項目 | 利用歴がある | 紹介したサービス |
|-----|-----------------|--------|----------|
| 1 | 健康推進課 | 20 | 19 |
| 2 | 子ども家庭支援センターすこやか | 50 | 68 |
| 3 | 児童館 | 23 | 24 |
| 4 | 保育課 | 48 | 22 |
| 5 | 医療機関 | 78 | 30 |
| 6 | 療育機関 | 4 | 3 |
| 7 | 家族会 | 3 | 3 |
| 8 | 費用助成 | 18 | 10 |
| 9 | その他(※) | 15 | 48 |
| | 合計 | 260 | 227 |

※SNSを介した交流、民間の託児・交流会、きょうだいの教育相談など

表3：ふたご・みつごの交流会

| 日時 | 場所 | 参加数(人) | 参加世帯数 |
|-----------|--------------------|--------|-------|
| 令和4年1月27日 | 佐須児童館 | 6 | 2 |
| 令和4年2月18日 | 新型コロナウイルス感染拡大のため中止 | | |

(3) 東京都出産応援事業

コロナ禍において、子どもを産み育てる家庭を応援・後押しするため、育児用品や子育て支援サービス等を提供する事業。対象家庭は、専用 WEB サイトにアクセスし、専用 ID で初回登録を行う。アンケート回答後に 10 万円分のポイントが付与され、希望する商品やサービス等の申込みを行う。市は、事業主体である東京都からの委託契約により、預かった「専用 ID を記載したカード」を対象世帯に配付する。対象となる世帯は以下のいずれかに該当する方。

ア 令和 3 年 1 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの間に都内で出産し、出生日および令和 3 年 4 月 1 日時点で調布市に出生した子どもを含む住民登録がある世帯

イ 令和 3 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの間に都内で出産し、出生日に調布市に出生した子どもを含む住民登録がある世帯

対象世帯の漏れがないよう、市外での出生届提出を考慮し、出生月の翌月末に対象となる世帯を抽出。その翌月中旬に、簡易書留でカードを配布する。

また、令和 4 年度から、登録勧奨を開始。第 1 回として、令和 4 年 4 月に、令和 3 年 9 月までに送付した 992 件のうち、ID の利用登録がない 72 世帯に対し登録勧奨を送付した。

表 1：令和 3 年度カード配布数 合計 1922 件

| 配布月 | 配布数(件) | 対象となる子どもの出生日 | 未受取り(件)(※) |
|------|--------|----------------------------------|------------|
| 5 月 | 386 | 令和 3 年 1 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 | 0 |
| 6 月 | 133 | 令和 3 年 4 月 1 日～令和 3 年 4 月 30 日 | 0 |
| 7 月 | 158 | 令和 3 年 5 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日 | 0 |
| 8 月 | 159 | 令和 3 年 6 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日 | 0 |
| 9 月 | 156 | 令和 3 年 7 月 1 日～令和 3 年 7 月 31 日 | 0 |
| 10 月 | 168 | 令和 3 年 8 月 1 日～令和 3 年 8 月 31 日 | 0 |
| 11 月 | 158 | 令和 3 年 9 月 1 日～令和 3 年 9 月 30 日 | 0 |
| 12 月 | 167 | 令和 3 年 10 月 1 日～令和 3 年 10 月 31 日 | 0 |
| 1 月 | 128 | 令和 3 年 11 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日 | 0 |
| 2 月 | 164 | 令和 3 年 12 月 1 日～令和 3 年 12 月 31 日 | 0 |
| 3 月 | 145 | 令和 4 年 1 月 1 日～令和 4 年 1 月 31 日 | 1 |

※不在等で、郵便局での保管期間を経過した後、戻りのあった件数

表 2：利用状況（令和 3 年度 東京都からの実績報告件数）

| 登録者数(人) | 発注受付(※) | | 発送済み | |
|---------|---------|-------------|--------|-------------|
| | 件数 | ポイント数 | 件数 | ポイント数 |
| 1641 | 11499 | 132,885,000 | 11,114 | 127,880,000 |

※複数回に分けての申込み可。ポイントの有効期限は初回登録から 6 か月。

(4) 予防的支援推進とうきょうモデル事業（子ども虐待防止センターとの連携事業）

家庭訪問など積極的なアウトリーチ等により、子育て家庭と信頼関係を構築しながら、家庭のニーズやリスク要因等を早期に把握し、適切に支援することで、児童虐待を未然に防ぐことを目的としている。対象は25歳以下の初産妊産婦の家庭で、支援期間は妊娠届出時から産後1年まで。子ども家庭支援センターと母子保健部門が連携し、きめ細やかなニーズ把握と訪問等により支援を実施する（令和4年8月から本格実施）。東京医学総合研究所がデータ収集・効果測定を行い、モデル区市町村が独自に取り組む予防的支援から報告された取組の成果は、都内区市町村に情報提供する。

表1：特定妊婦等の状況（令和3年10月～令和4年3月）

| 妊娠届出 | 妊婦面接 | 要支援妊婦 | 特定妊婦 |
|------|------|-------|------|
| 848件 | 890件 | 174件 | 16件 |

表2：調布市の虐待受理件数（令和3年4月～令和4年3月）

| 総数 (全年齢) | 0～1歳 (2歳未満) | うち初産 (第一子) | 児相送致 |
|-------------|----------------|---------------|------|
| 293件 | 35件 | 5件 | 0件 |

通告事例の振り返りからの考察

- ① 乳幼児期に子育て世帯と接点を持ち、親の生の声をメリットは大きい。
- ② メンタルの課題を持ちながらの子育てには大変な苦労がある。
- ③ 虐待通告される家庭に夫婦間の理解不足や怒りの感情コントロールの課題がある。
- ④ 依存症や親の被虐歴は把握しづらい。
- ⑤ 初期の妊婦面接では、ニーズの出にくさがある。

通告に至らなかった特定妊婦の背景

令和3年4月～令和4年3月の間満2歳になった児童のうち通告に至らなかった特定妊婦9件
→保育園に入園 5件 養育支援訪問事業 2件 実家と同居 1件 特別養子縁組 1件